

この日は、NPO法人里山を守る会（中川行夫理事長）

9月28日、都市・農村交流事業の一環として、里山・五郎助山（上野）に台東区立蔵前小学校の児童や関係者約80人が訪れ、筑西市の豊かな自然を満喫しました。

台東区の子どもたちが豊かな自然を満喫



人気だったザリガニ釣り

のみなさんが、子どもたちに魚釣りやザリガニ釣り、竹とんぼづくりなど自然ならではの遊びを指導。また、どんぐりや栗拾いを楽しむ子どもたちも多く、貴重な体験をした一日となりました。



斧を使っての薪割りも体験しました



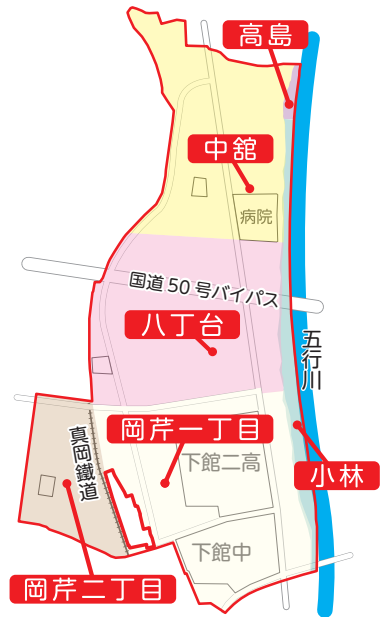
里山を守る会特製のカレーも大好評でした

八丁台土地区画整理事業「新町名・町界」が決定しました

市では、八丁台土地区画整理事業の早期完了を目指し、現在換地処分業務に着手しています。

それに伴って、5月に「新町名」を募集し、選考委員会の審査を行い、市議会第3回定例会の議決を経て最終決定されました。

今回決定されたのは「中館」、「八丁台」、「岡芹一丁目」、「岡芹二丁目」、「高島」、「小林」の6つです。



地番について

換地処分後は、整理前の地番は使用できなくなり、新たな地番を付番することになります。付番の方法はホームページをご覧ください。

効力発生日について

新しい「町名」、「町界」が決定しましたが、その効力が発生する日については、後日お知らせします（令和2年予定）。

問 都市整備課（本庁3階）

☎ 20-1181



「環境先進国を視察して日本の取り組みの違いを強く感じました。これまでの人生で経験したことのない充実した10日間を過ごすことができました」と、目を輝かせて話すのは、舟生（関城地区）出身で、現在はイギリスに住む立教英国学院高等部2年生の市村千華さん。

世界を変えたいなら、自分から変わることが大切

少年少女国連大使育成事業に参加した 市村千華さん

ジュネーブ（スイス）の国連欧州本部では、実際の会議の様子を見学し、現地の学生たちと「SDGs」について、解決策も議論しました。スウェーデンでは、環境先進地のマルメ市を訪問し、バイオガス（生ゴミ）で走行するバスにも乗車。「100種類にもおよぶゴミの分別。ゴミを大切な資源として活用する市民の意識を強く感じた」と市村さん。「一人ひとりの力が未来を切り開く大きな力になることを学ぶことができました。『SDGs』の取り組みを、多くの人に伝えていきたいです」。



両手で「17」のグローバル目標のポーズをとる市村千華さん



SDGs…2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。その内容は、貧困をなくす、ジェンダーの平等、気候変動への具体的対策など17のグローバル目標とし169の達成目標で構成されている。